# 新規上場申請のための有価証券報告書
# （Ⅰの部）の訂正報告書

Chordia Therapeutics株式会社

# 【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の訂正報告書 |
| 【提出先】 | 株式会社東京証券取引所　代表取締役社長　　岩永　守幸　殿 |
| 【提出日】 | 2024年５月29日 |
| 【会社名】 | Ｃｈｏｒｄｉａ　Ｔｈｅｒａｐｅｕｔｉｃｓ株式会社 |
| 【英訳名】 | Ｃｈｏｒｄｉａ　Ｔｈｅｒａｐｅｕｔｉｃｓ　Ｉｎｃ． |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役　三宅　洋 |
| 【本店の所在の場所】 | 神奈川県藤沢市村岡東二丁目26番地の1 |
| 【電話番号】 | 03-6661-9543 |
| 【事務連絡者氏名】 | 財務部長　久米　健太郎 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 神奈川県藤沢市村岡東二丁目26番地の1 |
| 【電話番号】 | 03-6661-9543 |
| 【事務連絡者氏名】 | 財務部長　久米　健太郎 |

## １【新規上場申請のための有価証券報告書（Ｉの部）の訂正報告書の提出理由】

2024年５月10日付をもって提出した新規上場申請のための有価証券報告書（Ｉの部）の記載事項のうち、「第一部　企業情報　第２　事業の状況　２　サステナビリティに関する考え方及び取組」の記載内容の一部を訂正するため、新規上場申請のための有価証券報告書（Ｉの部）の訂正報告書を提出するものであります。

## ２【訂正事項】

第一部　企業情報 …… 1頁
第２　事業の状況 …… 1
２　サステナビリティに関する考え方及び取組 …… 1

## ３【訂正箇所】

訂正箇所は＿＿＿罫で示してあります。

# 第一部【企業情報】

## 第２【事業の状況】

### ２【サステナビリティに関する考え方及び取組】

（訂正前）

(2) サステナビリティに関する取組

ガバナンス及びリスク管理

当社では、代表取締役はサステナビリティ関連（気候変動などの地球環境問題、人的資本等）を含むリスク管理に関する統括責任者として、経営管理部をリスク管理の担当部門と定め、業務運営に関するすべてのリスクについて、適切に管理・対応できる体制を整備しています。代表取締役又は経営管理部は、定期かつ随時にリスク管理に関する状況を経営会議に報告し、重要な事項を認識したときは取締役会及び監査等委員会に報告しています。

サステナビリティ関連（気候変動などの地球環境問題、人的資本等）を含むリスクの特定および管理方法として、経営管理部にて、事業環境、法規制、人的資本、気候変動などの地球環境問題等に関連するリスクを特定し、かつ発生頻度および事業に与える影響度を分析しています。識別したリスクの評価及び管理の過程として、経営管理部にて各種リスクの網羅性や妥当性などのモニタリングを行い、モニタリング結果に基づく対応策について経営会議に報告し協議しております。また、識別したリスクに変更がないか事業年度毎に見直しを行っています。

（訂正後）

(2) サステナビリティに関する取組

ガバナンス及びリスク管理

当社では、代表取締役はサステナビリティ関連（気候変動などの地球環境問題、人的資本等）を含むリスク管理に関する統括責任者として、経営管理部をリスク管理の担当部門と定め、業務運営に関するすべてのリスクについて、適切に管理・対応できる体制を整備しています。代表取締役又は経営管理部は、定期かつ随時にリスク管理に関する状況を経営会議に報告し、重要な事項を認識したときは取締役会及び監査等委員会に報告しています。サステナビリティをめぐる課題への対応はリスクの減少のみならず、中長期的な企業価値の向上の機会へつながる重要な経営課題であると認識し、管理・対応しております。

サステナビリティ関連（気候変動などの地球環境問題、人的資本等）を含むリスク及び機会の特定および管理方法として、経営管理部にて、事業環境、法規制、人的資本、気候変動などの地球環境問題等に関連するリスク及び機会を特定し、かつ発生頻度および事業に与える影響度を分析しています。また、識別したリスク及び機会の評価・管理の過程として、経営管理部にて各種リスク及び機会の網羅性や妥当性などのモニタリングを行い、モニタリング結果に基づく対応策について経営会議に報告し協議しております。また、識別したリスク及び機会に変更がないか事業年度毎に見直しを行っています。